

室蘭港の老朽化対策と利活用

- 現状**
- 室蘭港は、流入河川からの土砂の影響がなく、深く広い水域を浚渫不要で維持できる天然の良港であり、水深16.5mの本航路、水深14mのコンテナターミナル、北海道・東北で唯一、世界最大22万トン級クルーズ船の受入が可能な施設のほか、船舶の入出港を支える長大な防波堤などを有しています。
 - 22万トン級クルーズ船は、令和4年度から暫定的に受け入れ可能となっていますが、一部未供用部分があります。また、同岸壁背後の駐車場整備および観光施設への徒歩アクセスを可能にする緑地整備を交付金事業で実施中です。

- 課題**
- 防波堤や岸壁施設の老朽化が進んでおり、老朽化対策が必要です。
 - クルーズ船受け入れ岸壁における国直轄事業および交付金事業の促進が必要です。
 - 多くの港湾施設を有するため、定期点検診断の義務化も相まって、施設の適正管理に必要な多額の財政負担が課題です。
 - 室蘭港には鉄鋼関連企業等が立地しておりますが、遠方の岸壁から出荷するなど非効率な荷役がなされている状況です。
 - 大規模地震発生時における背後地への緊急物資輸送体制を強化する必要があります。



老朽化した
崎守地区北外防波堤



老朽化した祝津絵鞆地区岸壁
の鋼管杭



未整備の祝津絵鞆地区緑地

- 要望内容**
- 崎守地区：北外防波堤の老朽化対策（国直轄事業促進）
 - 祝津絵鞆地区：岸壁の老朽化対策（国直轄事業促進）
 - 祝津絵鞆地区：クルーズ船の受入環境の向上に向けた緑地改良に必要な交付金の確保
 - 鉄鋼業等の競争力強化及び大規模災害時の緊急物資輸送等への対応のための物流拠点の確保
 - 港湾施設の定期点検に係る補助制度などの創設



崎守地区北外防波堤改良(促進)



祝津絵鞆地区岸壁改良(促進)



祝津絵鞆地区緑地の改良(交付金)

- 事業効果**
- 老朽化対策、適正な管理により、施設の延命化とライフサイクルコストの縮減、突発的な修繕対応等に伴う利用制限を回避できるとともに、安全で効率的な利用ができます。
 - 大型クルーズ船が観光スポットに近接して着岸することによる寄港促進、これに伴う市街地の活性化や地域全体の観光振興が図られます。
 - 効果的な施設配置により、鉄鋼業等の競争力強化が図られます。
 - 大規模災害時の緊急物資輸送が確保され、地域の安心・安全の強化に貢献します。